

国際交流員ダニエルの

KANGA KOURYUU

カンガ交流



ワーキング・ホリデー

皆さんはオーストラリア観光をしたことがありますか。観光の国として高く評価されているオーストラリアには多くのおすすめスポットがありますが、広大な大陸を旅するにはたくさんの時間とお金が必要です。もしも皆さんがオーストラリアをもっと知りたいと思っているなら、ワーキング・ホリデーをおすすめします。

働きながら外国を楽しめる

オーストラリア政府は一定の条件のもと、他の国や地域の青少年（18歳～30歳）に対し、滞在期間中の資金を得るために短時間働くことができるビザを発行しています。

現在、日本がワーキング・ホリデーの協定を結んでいる国と地域は22か所あり、2017年にオーストラリアに渡航した日本人のうち千人以上がこの制度を活用しました。日本では1980年にワーキング・ホリデーの制度が開始され、最初の協定国はオーストラリアでした。ワーキング・ホリデーでの滞在期間は1年間とする人が大半ですが、もっとオーストラリアを楽しみたい人は2年間までビザを延長できます。

自分に合った仕事を探そう

参加者が選べる短期間の仕事はさまざまです。例えば、田舎ではファームに滞在して野菜や果物の収穫や選別、パッキングなどの仕事が人気です。また、都会やリゾート地では酒場やレストランなどの仕事もできます。英語力が高い人は受け付けや小売店での販売、チャリティーで街頭募金を集めることもできます。ワーキング・ホリデーの参加者の多くは旅行と短期の仕事を繰り返しながら、オーストラリアの滞在を楽しみます。中には最初の1カ月間にスクールで英語を勉強して、オーストラリアの生活にゆっくり慣れながら、友達をつくって英語の上達を目指す人もいます。

ある友人の体験

私がブリズベンに住んでいたときは日本語の練習をするために、毎週のように日本人留学生やワーキング・

オージー・スラング・タイム

オーストラリアのスラングを学ぼう



"Smoko"

読み方 「スモーカー」

意味 「職場での休憩」

オーストラリアの職場では、昼休み以外に15分くらいの「Smoko」と呼ばれる休憩が2回あります。「Smoke break(タバコ休憩)」から生まれた言葉で、「Smoko」のときにタバコを吸ったりお茶を飲んだり、果物やスナック菓子を食べたりします。建設現場や農場でよく使われていますので、オーストラリアで仕事をするならぜひ覚えておいてくださいね。

ホリデーをしている人が集まるパーティーに参加して、たくさんの友人を作りました。その友人の一人、エミさんから感心した話を聞いたので紹介します。

彼女は1年半ほどオーストラリアに滞在し、旅行を楽しみながら英語力を向上させるという目標を持っていました。最初にブリズベンで働きながら英語のスクールに通い、ゴールドコーストやグレートバリアリーフ、メルボルン、シドニー、世界遺産のブルーマウンテンズとフレーザー島などへの旅をしました。その後はクイーンズランド州のマツ



▲エビとカニを選別するエミさん

カイに引っ越して、ホームステイをしながらエビやカニを選別する仕事をしました。ブリズベンに戻ってくると、トルコ料理のレストランと酒屋で働きながらいくつかの国際交流関係のサークルに入り、英語を勉強しながら興味があることにチャレンジしました。彼女が特に良かったと感じたのは、オーストラリアでの仕事やコミュニケーションを通じて英語力が向上し、オーストラリア人の魅力的なところ(嫌なところも)が分かったことだそうです。しかし、残念なことに世界遺産のウルルに行くことができなかったそうで、リベンジのために社員旅行の担当としてウルルへの旅行を提案するつもりだと聞きました(笑)。

皆さんいかがでしたか。オーストラリアでのワーキング・ホリデーに興味を持ってもらおうきっかけになればとてもうれしいです。